

# 記入例

(様式第1号)

令和 年 月 日

伊予市農業再生協議会長 様

住 所 伊予市米湊1111番地

氏 名 伊予 太郎 (団体等は、その名称)

(代表者氏名)(団体等は、その代表者の氏名)

電話番号 089-982-1111

※水稻生産実施計画書の記載面積と実際に作付した面積を比較し、小さい方の面積を記載

※携帯電話がある場合は、その番号を記載

## 水田農業経営継続支援事業助成金交付申請書

水田農業経営継続支援事業について、下記のとおり申請いたします。

1 助成金申請額 36,000 円 (下表の④と同値とすること)

①作付実績面積	②自家消費相当分	③助成単価	④申請額【(①-②)/10×③】
<u>100</u> アール	10 アール	4,000 円	<u>36,000</u> 円

※申請額計算例：(100 - 10) ÷ 10 × 4,000 = 90 ÷ 10 × 4,000 = 9 × 4,000 = 36,000円

2 主食用米作付に関する申告事項 (口印のどちらかに✓点を記入してください)

~~令和5年度に提出した水稻生産実施計画書の記載面積と相違ありません。~~

実際に作付した面積は以下のとおりです。

※提出済みの水稻生産実施計画書に記載した面積と実際に作付した面積に相違がなければ、こちらに✓

作付実績面積 アール

※実際に作付した面積が計画書と異なる場合は、こちらに✓して、その面積を記載

3 主な出荷・販売先 令和3年産： 出荷・販売先を1つ記載

(各年産ごとに記載) 令和4年産： 出荷・販売先を1つ記載

令和5年産： 出荷・販売先を1つ記載

4 誓約事項 (全ての口印に必ず✓点を記入してください)

※記載した出荷・販売先の伝票(写し可)等を添付  
※JA出荷の場合は、伝票等は必要ありません

本申請書、水稻生産実施計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合、助成金を返還及び交付されないことについて異存ありません。

本事業に関する証拠書類等について、助成金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、協議会等から求めがあった場合には、提出します。

証拠書類等が保管されておらず、要件を満たすことが確認できない場合や提出を拒む場合、助成金の返還について異存ありません。

本事業の申請者から提出された書類に記載された個人情報行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第58号)及び関係法令に基づき適正に管理し、本事業に係る事務のために使用することに同意します。

記入例

内容を確認しすべてに